**【Entry：063】**

**題名：　わたしから始まる平和統一**

**お名前：　　冨田　加与**

　20年くらい前、韓国釜山に6ヶ月くらい住んだことがある。

　その時ひょんな事からある老人と出会った。私が日本人女とわかると、日本人女に1対1で話をするのが初めてだと言われた。

　翌日、もう一度会いたい、と言われて、家に招待された。訪問したら、その老人の友人2人も居て、私は驚いて玄関で固まってしまったが、『上がりなさい』 と言われて、仕方なく3対1で向かい合って座った。そこに来ていた老人の友人2人も、 初めて身近に見る日本人女である私をジロジロ見る。

　そのうち最初に出会った老人が、話し始めた。小学生になれば、名前を日本名に変えられた話や、強制的に日本語国語の授業を受けた話。老人の父親は、老人が幼い時 強制連行され日本に渡り、それ以来一度も会わず日本で亡くなった事を最近知らされたそうで、 父親の安否をずっと何かの形で探し回っていたそうだ。 父親の死は日本での強制労働の故 死亡したと思いたかったそうだ。 だが、現実は違った。

　終戦を迎え父親は解放され、韓国に帰ろうとしていたが、途中命が危ぶまれていた時、父親を助けてくれた日本人女性と結婚して家庭を持ち、異母妹を育てて死亡したと、 連絡ついた日本の異母妹から聞いた瞬間から老人は、泣いたそうだ。たくさんたくさん泣いたそうだ。私に話をしながらも、涙ながらに語っていた事を昨日のように今も思い出す。老人は続けて話す。終戦後強制労働してた父親は韓国に残した若い妻と幼い息子にすぐ会いにくるはずではないか？ 強制連行された者として解放されたのに、韓国に残した家族をそのままにして連絡もしないままそのまま日本人女性と結婚してた事が、 老人の母と老人に対する裏切りだと思い、悲しくて仕方なかったそうだ。 父親の死亡を聞いた時、もう既に老人の母は他界していた。 老人の母は強制連行された国の 日本人女性と夫が家族を持ち暮らしていた事さえ知らないで他界した。終戦直後の韓国女手一つで息子を育て苦労の人生を歩んだ母を思いまた泣く老人。 その方が、泣きながら私に言ってきた。 日本人があの時父親を強制連行して日本に連れて行かなかったら、私達家族は離れ離れにならなかったし、父親も日本で日本人との家族を持たなかった、と、、、。

　私の目を見ながら、彼の目の前にいる日本人というだけの私に機関銃のように話しかけていた。老人は話の最後に言った。 日本女性は悪くない！悪いのは日本人男だ！

　日本人が韓国を植民地にしてからの過去の全ての恨みを、国籍が日本人というだけのこんな小さな普通の主婦に持ってきて、行き場のない恨みを吐露した老人。

　その老人の話が終わるや否や彼の友人1人が話し始めた。

　私(老人の友人)は北朝鮮から命からがら逃げて来た、、と、韓国動乱の時の事だ。家族は未だ北朝鮮にいる。 あの日以来会えてないのが苦しくて、今も会いたくて仕方ない時 酒の力を借りて癒すんだ！と。

　老人の友人も同じように言った。 日本人が朝鮮半島を植民地にしなかったら、自分は離散家族にはならなかった！と。

　北朝鮮に置いてきた家族を思い独身を貫いてる。先に自分が、南に降りてきて基盤を作って、北に置いてきた家族を呼ぼうと思ってたら分断されて2度と会えなくなってしまった、と。

　彼もまた日本人が悪いと、一般日本人主婦に訴えて話す。

　もう1人の友人も話し始める。小学校での強制日本名に改名と日本語の強制授業の屈辱の話。

　私は出会った老人の2人目の話は日本が悪いと納得したが、 最初に出会った老人の父親の話と、北朝鮮から逃げてきた老人の友人の話を聞いて腑に落ちなかった。

　なぜなら、父親が日本女性と家族を持ち韓国に帰国しなかった事それは、その老人の父親が不倫した事になるし、北朝鮮から逃げてきた人は、韓国動乱の理由だし、 日本国籍を持つ彼らが話の中で、悪いやつと言う日本人男の血を引く名も無き一般主婦の私に 持って行き場の無い恨みを怒りながらも日本人女性は悪く無い日本人男が悪いと言いながら話してきた、その恨み辛みの彼らの感情をただ癒したかった！

　この3人の老人の過去の何十年間の日本人男に対する恨みの感情をただ癒したかった！　話終えた直後 私はどんな言葉を発したら良いか、、？

　一瞬の出来事だった。 私の言動に私自身が驚いた！ 3人の老人の機関銃のような長い話の終わった直後、 3人の老人の前に 私は土下座して謝った！

　日本人男の血を受けている私が、日本の代表としてここで皆様に謝ります。 申し訳ございませんでした！ と、、、。

　私の咄嗟の言動に彼らも驚いていた。

　貴方が悪いんじゃ無いから、、、！と土下座の私に土下座をやめさせた。

　その後健康ドリンクとお菓子で接待してくれた老人達。

　その日以来、何回か会っては釜山の観光地や美味しいお店など連れて行ってくれたりした時も、 老人3人から日本人の悪口を耳にする事は、二度と無かった。

　私から始まる平和統一 この題目を見た瞬間、釜山滞在中に出会った3人の老人達の事を思い出した。

　 平和に統一する。

　それは、私の目の前にいる人の怒り恨み言、などの理由が、私とは直接全く関係ないとしても、

　相手の恨みを慰めてあげたい！ という一心の心から平和統一がなされるのではないかなぁ？と、思った。